

## 今、防災活動をしらないことは…

250108

昨日の避難訓練は予告なしで、これまでの避難訓練で学んだことを生かすことを目的としました。自分で考え、最も適切な行動をとることはできましたか。一瞬の判断で生死の分かれ目になると言われています。自分の判断をしっかりと振り返ってみてください。

さて、去年は1月1日に起きた能登半島地震からスタートしました。今年は、大過なくスタートすることができ、平穏無事のありがたさを実感しています。しかし、年末から年始にかけてのテレビの特集番組で、能登半島地震の被災地の方は、癒えぬ悲しみ、道半ばの復興のなか、今なお避難生活が続き、苦しい生活環境で過ごしてみえることが報道されていました。私は、それを見ていて、1年生が取り組んだ「防災サバイバルキャンプ」での大学生の語り部の方の「**今、防災活動をしらないことは、90%の降水確率で傘を持たずに出かけることと同じだ**」という言葉思い出しました。

防災活動として、幸田中では総合的な学習や今日のような避難訓練だけでなく、幸中祭で3年生が中心になって開幕宣言と共におこなった募金や、2学期末に防災委員会が実施した日本赤十字社を通しての募金などに取り組んでいます。

また、先生たちも2学期末に一つの取組をしました。それは、職員室前廊下にあったトロフィーや盾を飾っていたガラスのショーケースを撤去しました。災害時にガラスが散乱して避難の妨げになると考えたからです。こういった取組こそが、防災意識を高めていく大切な活動なのだと思います。

これからも、いつ起きるかわからない「防災」「命を守る」ことについて、一緒に考えていきましょう。